

新たな特性を実現させるための配合技術Ⅲ

～原材料の活用 構造制御と物性発現～

主催：日本ゴム協会 研究部会 配合技術研究分科会

協賛：日本化学会，高分子学会，自動車技術会，石油学会，繊維学会，日本材料学会，日本接着学会，
(予定) 日本機械学会，日本合成樹脂技術協会，日本レオロジー学会，日本複合材料学会，プラスチック成形加工学会，
マテリアルライフ学会，日本トライボロジー学会，

ゴム技術シンポジウムも今回で記念となる200回を迎えました。今回は配合技術の原点である原材料の特徴をよく知り、どのように活用すれば所望のゴム物性が得られるのかに注目して、配合物の分析・解析技術、また新素材による新たな応用例も交えて、幅広く学んでいただけるよう著名な講師陣をお招きして企画しました。プログラムの最後には講師の方々とディスカッションする時間をご用意しております。多数の参加をお待ちしております。

日時：2014年3月12日(水) 午前9時50分～午後4時45分

場所：東京電業会館 地下ホール 東京都港区元赤坂1-7-8 電話03-3403-5181(代)

受講料：日本ゴム協会会員 協賛団体会員23,100円 日本ゴム協会学生会員5,250円

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属の会社が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受け付けます

シニア制度対象者 11,550円(60歳以上の正会員) 会員外 31,500円

受講料には消費税・テキスト代を含みます

申込方法：便利なインターネット <http://www.srij.or.jp/> からの申し込みが出来ます。

申込み欄にご記入の上、FAXまたはEメールにてお申込み下さい。(定員100名)

送金方法：現金書留又は銀行振込(三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847 一般社団法人日本ゴム協会)。振り込み手数料は受講者側でご負担下さい。領収証が必要な方は申込書欄外にその旨お書き添え下さい。一度ご入金された受講料は返金いたしかねますので予めご了承下さい。開催日が近づきましたら開催ご案内を発送いたします。

申込先：一般社団法人 日本ゴム協会 第200回ゴム技術シンポジウム係(東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階)

FAX 03(3401)4143 TEL03(3401)2957 Eメール nakagawa@srij.or.jp

	演 題	講 師
9:50~10:00	開会のあいさつ	配合技術研究分科会主査 三稿 久美 【座長】元・横浜ゴム(株) 石川 泰弘
10:00~11:00 (講演概要)	分光学的手法によるゴムのリアクティブプロセス解析 生ゴムに混練された加硫促進剤などのゴム薬が成形加工過程で果たす役割を NMRとESRを用いて検討した結果を紹介する。	東京理科大学理学部 嘱託教授 伊藤 眞義氏 【座長】鬼怒川ゴム工業(株) 宇都木宏之 (株)日産アーク 加藤 淳氏
11:00~12:00 (講演概要)	構造解析と配合(フィラー分散・架橋構造と物性) 3D-TEMを用いた、ナノフィラーの分散・凝集構造の可視化と、画像解析で得られた 形態パラメーターと物性との相関について紹介する。	【座長】横浜ゴム(株) 鹿久保隆志 西沢技術研究所 代表 西澤 仁氏
12:50~13:50 (講演概要)	ゴムの難燃化技術—難燃機構と難燃剤の使い方 難燃化機構の基本技術を述べ、配合設計のための難燃剤の種類、 使い方についてわかり易く解説する。	【座長】ニチアス(株) 山田 均 天満サブ化工(株) 名井 義和氏
13:50~14:50 (講演概要)	ゴム配合におけるファクチス(サブ)の役割について ファクチス(サブ)の特性及び効用を解説し、さらに使用例を紹介する。	【座長】三新化学工業(株) 立畠 達夫
15:00~16:00 (講演概要)	スライドリング・マテリアルの基礎と応用 架橋点が自由に動くスライドリング・マテリアルは、従来の架橋高分子材料とは異なる物性を示す点から注目を集めて いる。本講演では、スライドリング・マテリアルの基礎と自己修復性塗料などへの応用について解説する。	東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授 伊藤 耕三氏 【司会】横浜ゴム(株) 鹿久保隆志 配合技術研究分科会副主査 鹿久保隆志
16:05~16:45 16:45	講師による質疑応答 閉会のあいさつ	

※便利なインターネット <http://www.srij.or.jp/> からの申し込みが出来ます。

第200回シンポジウム(配合)

受講者名	社名
部署	連絡先住所 〒 ー

TEL FAX E-mail :

会員の別(○をお付けください) 正会員 賛助(法人)会員 学生会員 会員外
シニア制度対象者(会員番号 生年月日 大正・昭和 年 月 日生)
配合分科会会員 協賛(団体名)

支払予定日 支払方法 請求書 要 不要 (○囲)

ご担当者名 所属